

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

千葉県本部
会計年度任用職員の組織化について

2023年5月24日

組織拡大専門員 岩上 和人

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

○自己紹介

1975年2月20日 千葉県生まれ（48歳）

小中学校そして高校も自転車で通える高校へ

専門学校で2年間 情報処理を学ぶ（初めて県外の学校へ！）

1995年4月 千葉県内の企業に就職

就職と同時に組合員となる（情報労連）

2011年5月 退職～転職（自治労）

「仲間づくり」を担当

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

○千葉県市町村数 54市町村（37市16町1村）

○千葉県内組織の現状（2022年6月確定登録）

全36単組

組合員12,195人（うち女性6,584人）

自治体単組：14単組

臨職・公共民間・公営競技単組：22単組



※うち、

会計年度任用職員を組合員にしている単組・・・13単組

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

○会計年度任用職員の組織化について

- ・当事者による自治体単組役員へのオルグ

協議会四役を中心に、幹事にも声を掛け、自分たちの思いを直接、自治体単組役員に伝える機会

具体的には、

県内を3ブロックに分け実施

開催時期：春闘期（5月～6月）

事前に調査票を依頼

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

○会計年度任用職員の組織化について

- ・開催時期：春闘期（例年5月～6月）

2010年より前からの協議会重点活動

コロナ禍により2020年・2021年の2年間は実施出来ず！

2022年も参加人数に配慮して実施

- ・事前に調査票を依頼

2年間未実施の為、会計年度任用職員制度後

初の要請行動

調査票は簡易な内容に変更

単組要請行動 把握調査について

単組名：_____

1. 会計年度任用職員（臨時・非常勤等職員）の人数について

フルタイム：_____名

パートタイム：_____名

2. 会計年度任用職員（臨時・非常勤等職員）の期末手当の支払いについて

3. 要求書の提出について

当事者の話しを聞いて課題の改善に向けて要求しているか？

どのような要求をしているか？

4. 組織化に向けて

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

○会計年度任用職員の組織化について（具体的単組事例）

・芝山町職員組合

単組要請行動時の単組役員とのヒアリングにて、

保育所の臨時職員（当時）が担任を受け持っていて、正規職員より15分や30分短時間での契約となっている。

当局も脱法だとの認識はあるが、少子化で正規職員を補充できる状況ではない。

（2015年ごろより3園→2園への議論がされてきている。現状も3園で運営）

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

○会計年度任用職員の組織化について（具体的単組事例）

・芝山町職員組合

要請行動の他、拡大専門員オルグを定期的に実施し、単組執行部と意見交換。
協議会役員・拡大専門員による当事者の学習会を複数開催。

2020年4月からの「会計年度任用職員制度」開始に合わせ、単組役員と共に当事者へオルグを開始。

（本部支給マスクに単組ニュースやチラシを封入）

※同時に当局へフルタイム会計年度任用職員制度の導入を要求

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

○会計年度任用職員の組織化について（具体的単組事例）

・芝山町職員組合

組合対象者：正規職員：115人、会計年度任用職員：約70人

組合員数（正規）：90人

（会計年度）：8人

内訳 フルタイム保育士：6人

パートタイム事務：2人

単組保育役員、拡大専門員にて3園を定期的にオルグ

本庁職場は単組執行部にて声掛け

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

事例
8

仲間
づくり

千葉県本部 芝山町職員組合

働きたい気持ちを訴えていきたい



○ 組織化のきっかけ

芝山町では、保育に必要な人材を正規職員のみで充足させることができず、臨時職員を採用することで対応してきました。そんな臨時職員の中には、複数年勤務する者も存在しましたが、勤務年数等の経験は賃金に反映されず、働く側のモチベーションの低下やより賃金の高い自治体や民間への人材の流出という問題を抱えるようになっていました。そのため、臨時職員の勤務条件の改善を図ろうとしましたが、臨時職員の組織化ができておらず、当局との協議の場にあげることすらできない状況でした。

そのような状況の中、2020年4月から会計年度任用職員としての勤務形態が開始されるとのことから、身分の変更に合わせて、会計年度任用職員についても組合員になれるようにし、勤務条件の改善を図ろうという機運が醸成されました。



○ 取り組み

単組執行部が各保育所へ出向いて職員組合の説明や職場委員の声掛けを実施しました。また、各保育所で職員組合についてのイラスト付き資料を配布するとともに、それぞれの事業の概要や参加してみたいの感想を伝えました。

会計年度任用職員の声（組合に入った理由）

- 臨時職員の時組合への加入がなく正規職員を通して処遇改善を訴えてきましたが、加入が可能となり自分たちの意見が直接届くと思い加入しました。職場環境改善・休暇の拡充・処遇改善を訴え、辞めていく人を一人でも減らしたいです。
- 休暇を増やしてほしいから
- 処遇改善をしてほしいから
- 働き続けたい気持ちを訴えていきたいから
- 熱心に誘ってもらったから。

2022年1月発行

組合って力ですpart12

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

○会計年度任用職員の組織化について（その他の取り組み事例）

・茂原市役所職員組合

要請行動時に当事者を集めての座談会を提案。

協議会役員・拡大専門員による当事者の学習会を複数開催。

現状、

※確定期に会計年度任用職員にもアンケートを毎年実施、要求書にも反映。

当事者から組織化の声が上がっていない → 正規職員が面倒を見すぎている！

現状、組織化に至らず・・・

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

○会計年度任用職員の組織化について（その他の取り組み事例）

- ・香取市職員組合

2022年度 要請行動時に会計年度任用職員向けにアンケート実施を提案。

県本部にてアンケート（案）を作成・提案し2022年7月に実施。

※確定期に会計年度任用職員の処遇改善についてにも要求。

今後、会計年度任用職員へのアプローチについて単組執行部と協議

第32回オルガナイザー養成講座第2回研修会

ありがとうございました。

2023年5月24日

組織拡大専門員 岩上 和人